



Yamaguchi University Report

山口大学レポート 2025

Contents

02 学長挨拶

03 明日の山口大学ビジョン2030

06 実績

- ・キャリアセンターは良き伴走者
- ・One Welfare 国際研究センター
- ・地域社会の課題解決に全力で取り組む
- ・世界を感じるキャンパスで学ぶ

15 特集 ひと・まち未来共創学環

19 山大Topics&News

22 財務データ・ガバナンス

- ・財務情報
- ・山口大学の内部統制体制について

31 山口大学基金

33 山口大学病院が目指す 「安心」と「未来」

35 山口大学データ集

- ・山口大学の気になる数字
- ・入学志願者・入学状況
- ・卒業生・修了者の就職状況



Cover Story

山大発ロックバンド「Dear WENDY」
山口大学経済学部が結成した3ピース
ロックバンド「Dear WENDY」。2024年8月
には初のアルバムをリリースし、全国8都市を
巡るライブツアーも実施。「山口の音楽シー
ンを盛り上げたい!」との熱い思いを胸に、
音楽活動をつづけています。

山口大学レポートに関するご意見等をお寄せください。
yu-info@yamaguchi-u.ac.jp

発行:山口大学総務企画部広報室
発行年月:2025年6月



学長挨拶 Greetings from the President

人は五感を鋭くして情報を集め、それを統合して判断を下してきました。最近では人の「五感」を超えるセンサーが人を含めたあらゆるところから情報を集め、インターネット上に存在する多くの情報を総合して提供してくれます。コンピュータの能力はますます高まり、人工知能(AI)は人を超える能力で現在得られる情報を瞬時に統合して解を導きます。しかしながらそれに指示するのは人であり、結果をもとに的確な判断を下して実社会に活用してゆくのは人の仕事です。2025年4月、山口大学にはひと・まち未来共創学環、人間社会科学研究科という学部相当の学士課程、大学院修士課程が誕生しました。ここでは専門性とともに学際的な学びを行い、自ら課題を発見し、解決法を求める、前述のような現代社会で期待されている役割を演じることができる人を育てます。社会は常に変化し、求められる能力も変わり得ます。山口大学は学部・大学院の改変や新設により、あるいは既存の組織においても常にカリキュラムなどをアップデートしてその時々時代の求める人材を育成しています。また、先端的研究・開発により、科学や産業の発展に貢献しています。

1815年に長州藩士・上田鳳陽により創設された山口講堂

を起源とする山口大学は、210年の歴史を経て、9学部、1学環、7研究科からなる基幹総合大学へと発展しました。「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」を理念とし、2022年に策定した明日の山口大学ビジョン2030では、「知の創造としなやかな人材の育成により地域に・世界に貢献する」を中心的な目標と決めました。ダイバーシティを活力の源泉と捉え、全ての構成員がそれぞれの個性を発揮し、多様な価値に共感・共鳴してつながる、魅力あるダイバーシティキャンパスを形成しつつあります。同時に、総合大学が生み出す多様な知が共奏することにより、変化する社会をしなやかに先導したいと考えています。「山口大学レポート2025」はこうした大学の2024年度の歩みをまとめた年報です。このレポートが、みなさんに山口大学をより深くご理解いただくための一助となれば幸いです。本学は理念・目標の実現に向けて、たゆみなく歩みを進めて参ります。引き続き温かい激励、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月 山口大学長 谷澤 幸生

しなやかに
未来を切り拓く
山口大学